

TV リモコンをいじっちゃおう！！

最近のテレビのリモコンは本当に多機能になりました。が、しかし、逆を言うと、メーカーが指定した使い方が出来なければ、本当に使いにくい物になってしまうということも多いのです。特に障がいを持った方は。

さて、視覚障がいの A さんが買ったテレビのリモコンはこれです。(写真1)



このリモコン、他のメーカーのリモコンに比べてボタンが大きく、押しやすいのです。購入時はとても良いなと思ったのですが。

A さんは指が太いことから、ひとつのボタンだけを押し事が苦手です。また最近視覚障がいになったことから、新しいスイッチの操作を覚えるのも苦手です。

結果、いつも違うボタンを押してしまい、思うように操作が出来ない状況になってしまいました。



そこで、本人にも使える「学習リモコン」を購入しました。

(写真2)

学習リモコンとは、他のメーカーの家電製品でも使えるという機械です。2千円前後で購入可能になりました。

A さんは番組表も、視聴者参加型の番組も操作はしないし、また CATV でもないので、4つ受信できるチャンネルがあれば良いのです。

が・・・これもまた誤操作が。上手くは行きません。

そこで、このリモコン。更に不要なスイッチをカットしてしまおうと考えました。

但し、こういった改造は、あくまでも自己責任です。



ばらばらにするとこんな感じ。
基盤と、ゴム製のスイッチとカバーです。
(写真3)



不要なスイッチ部をカッターで切り取ります。
(写真4)



基盤部のスイッチが当たるところにはテープでカバー。(写真5)

組み立てるとこんな感じ。(写真6)

押せるスイッチは、電源とチャンネル6つと音量程度で。



さて、使えるか・・・というところ。

これでも不十分でした。テレビのリモコン受信部と、リモコンの方向を合わせるのが難しく、上手く操作できません。

まあ、それでも写真1のリモコンより確実性は上がっています。あとはAさんがゆっくりと操作に慣れて行くしかないかなと思います。

最近では100円均一のダイソーにも介護用品が売られています。リハビリ用の靴を真似て「高齢者でも履きやすい靴」という名で、普通の靴屋でも見られます。また、車いすや杖等も安価でホームセンターに売られるようになっています。

しかし、それをどんな人でも使えるかというときにあらず。どんな福祉用品でも、本人がその用品を使えるように慣れる事も必要です。車いすで有っても、身長140センチの小柄なご婦人と、170センチを超える大柄な男性が、同じ大きさの車いすで有るはずが無い。そして、重度の障がいになればなるほど、「誰でも使えるはずの物」ですら使いにくくなってしまいます。

大事なことは、そんな物であっても更に当人に使えるように調整していく事です。色々な工夫でマッチングしていくことで、更に一人で使える物になっていく。そのことで更に生活の幅が広がって行く。

今回はその一部を紹介しました。

※ あくまでもこれらの改造は「自己責任」であることです。このリモコンにしてもAさんの自己責任が大前提です。

今回はたまたまテレビとリモコンとテレビの置かれた環境の中での話です。他の機種や製品が同じように出来るとは限りません。私どもも全ての事に対して提供できるものではありません。